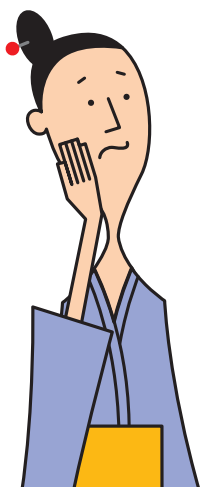


高すぎる 国保料(税)の 引き下げを

署名にご協力ください



社会保険なみに傷病手当、出産手当を

●岐阜市でスナックを経営するTさん

私はがんの治療で毎月4万円も払っています。高額療養費制度で一部は戻ってきますが、軽くありません。国保には傷病手当も出産手当もないので、仕事を休むこともできません。それどころか、国保料が高くて払えず、病気でもお医者さんにかかれず我慢している仲間がたくさんいます。国保料を下げ、中味もよくしてほしいです。

都道府県単位化で国保値上げ

2018年4月から都道府県が国民健康保険(国保)の財政運営を担う「国保都道府県化」が始まり、4割の市町村で国保料(税)が上がりました。値下げ・据え置きは6割です。ところが国は急な値上がりを防ぐための国の補助や、市町村が負担軽減のために行っている国保会計に対する一般会計からの繰り入れをなくす方向です。このままでは値上がりは必至です。現在も国保料(税)は高額で所得の約2割を占めています。

必要なのは国庫負担の増額や、自治体の繰り入れ継続・増額です。

所得の2割を占める国保料(税)

所得300万円、4人家族、40代夫婦、未成年子ども2人世帯の場合

都市名	国保料(税)	所得に占める割合
札幌市	542,395円	18%
東京都新宿区	533,973円	18%
新潟市	511,440円	17%
大阪市	556,830円	19%
福岡市	533,022円	18%

※中央社会保障推進協議会調べ

全国商工団体連合会

〒171-0031 東京都豊島区目白2-36-13

TEL 03-3987-4391

FAX 03-3988-0820

<http://www.zenshoren.or.jp/soudan/>



民商に相談

検索